

# ESSEC Business School Fall Term 留学体験記

会計専門コース2年 小針聖

2025年8月から約5か月間、フランスのESSEC Business Schoolにて交換留学を行いました。本稿では、留学期間中の学校生活や日常生活を通じて感じたことをまとめます。

## ① 学校生活

ESSECの授業は、ディスカッションやグループワークを多く取り入れている点が特徴的です。短期間で集中的に授業を受け、プレゼンテーションやレポートを通じて評価される科目も多く、学習負荷は決して軽くありませんでした。学生自身が主体となって学習・議論を行い、時に教員と意見を交わすスタイルは、日本の授業とは大きく異なるため、新鮮な経験でした。授業中に学生と教員の議論が白熱する瞬間もあり、良い意味で緊張感のある授業が多かったと感じています。また、ESSECは世界中から学生が集まっており、授業内外を通じて多様なバックグラウンドを持つ学生と交流する機会が豊富にありました。学業面だけでなく、公私ともに楽しみながらネットワークを広げることができ、留学期間中に築いた人間関係は、帰国後もつながり続けられる貴重な財産になったと感じています。

## ② 日常生活

公式の学生寮はキャンパス周辺ですが、通学には電車と徒歩を合わせて20分ほどかかりました。周辺は観光地ではなく、英語が通じにくい場面もあり、生活の中でフランス語の必要性を実感しました。電車の遅延や運休に悩まされることもありましたが、日本と異なる生活環境に身を置く経験そのものが印象に残っています。費用面については、フランスの住宅保険制度により家賃の一部が補填されました。また、会計研究科からも奨学金を受給することができ、留学を後押しして頂きました。

## ③ 留学を通じて感じたこと

ESSECでの留学を通じて、授業そのもの以上に、人や環境から学ぶことが多いと感じました。世界中から学生が集まる環境では、授業内外を問わず自然と交流が生まれ、学業だけでなく私生活も含めて充実した時間を過ごすことができました。留学期間中に築いたつながりは、帰国後も続いており、ESSECで留学した大きな価値の一つだと感じています。ヨーロッパに拠点を置くことで、EU加盟国や近隣国へ国内旅行に近い感覚で移動できました。実際に複数の国を訪れてみると、同じヨーロッパの中でも国ごとに経済状況や街の雰囲気が大きく異なり、それを肌で感じられたことは非常に印象に残っています。フランス国内旅行も含め、学外での経験が留學生活をより実りあるものにしてくれました。

## ④ 最後に

本留学を無事に終えることができたのは、家族、早稲田大会計研究科およびESSEC Business Schoolの関係者の皆様、そして会計研究科やESSECの友人たちの支えがあったからです。改めて、ここに深く感謝申し上げます。

